

令和 7 年度

# フォローアップ研修の手引 ＜デジタル版＞

- ・ 教職 2 年次フォローアップ研修
- ・ 教職 3 年次フォローアップ研修

（特別支援学校）

令和 7 年 2 月

山 形 県 教 育 委 員 会

# 令和7年度山形県特別支援学校 教職2年次フォローアップ研修の概要

## 1 目 的

山形県教員「指標」の始発期における公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。

## 2 主 催 山形県教育委員会

## 3 対象者

令和6年度に実施した、山形県小学校・中学校・義務教育学校初任者研修、山形県特別支援学校初任者研修、山形県高等学校初任者研修のいずれかを受講した者で、山形県公立特別支援学校の教諭及び助教諭（令和7年4月1日現在）とする。ただし、令和6年度以前に、教諭として国立学校又は公立の学校において1年以上勤務した経験者は含まない。

## 4 研修の内容・回数等

校内研修・ 校外研修の区別	主 管	回数・時間等	研 修 内 容
校外	県教育 センター	3 回 (午後)	○生徒指導力を高める研修 ・教育相談の基礎 (A・B日程) ○特別支援教育力を高める研修 ・発達障がいに関わる理解と支援 (A・B日程) ○教育公務員としての自覚を高める研修 ・教職2年次服務研修 (A・B日程)
校内		30時間	・校長等の指導の下、計画的・継続的な授業 研究等

※ 教職大学院修了者は、校内における研修（30時間）を免除する。

※ 研修の実施日は、5月から翌年1月までの期間を原則とする。

## 5 県教育センター主管の研修

いずれもA・B日程で行うため、研修者は自身の日程を別添「研修者名簿」で確認すること。日程の移動を希望する場合は、下記のとおり連絡が必要になる。なお、期限を過ぎた場合には、原則移動を認めない。

### (1) 教育相談の基礎

① 期 日 A日程 令和7年5月22日（木）

B日程 令和7年5月27日（火）

② 会 場 所属校等（Zoomを利用したオンライン型研修）

③ 主な講師 県教育センター指導主事

④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限

県教育センター宛、下記メールにて連絡（様式は任意）

kyose-kensyu@pref. yamagata. jp

令和7年4月16日（水）まで

## （2）発達障がいに関わる理解と支援

① 期 日 A日程 令和7年11月20日（木）

B日程 令和7年11月27日（木）

② 会 場 所属校等（Zoom を利用したオンライン型研修）

③ 主な講師 県教育センター指導主事

④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限

県教育センター宛、下記メールにて連絡（様式は任意）

kyose-kensyu@pref. yamagata. jp

令和7年10月8日（水）まで

## （3）教職2年次服務研修

① 期 日 A日程 令和8年1月16日（金）

B日程 令和8年1月20日（火）

② 会 場 所属校等（Zoom を利用したオンライン型研修）

③ 主な講師 県教育局教職員課管理主事

県教育センター指導主事

④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限

県教育センター宛、下記メールにて連絡（様式は任意）

kyose-kensyu@pref. yamagata. jp

令和7年12月3日（水）まで

## 6 校内における研修

（1）山形県教員「指標」の始発期における重点項目を参考にしながら、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等を中心に、その他の領域も含めた研修者の実態を考慮した研修内容とする。

（2）研修者は、自らの課題解決に向けて、校内の他の教員の助言等を受けながら、計画的に授業研究等を企画し、取り組むものとする。

（3）校長は、研修者への助言等を行うためのフォローアップ研修担当者を、学校や研修者の実情に応じて配置することもできる。

## 7 研修計画書の作成

研修計画書は、校長の指導・助言の下、原則として研修者が作成する。その際、研修の趣旨を踏まえ研修者の課題解決の契機となりえるものとする。

## 8 実施報告書の作成

実施報告書は、校長の指導・助言の下、原則として研修者が作成する。

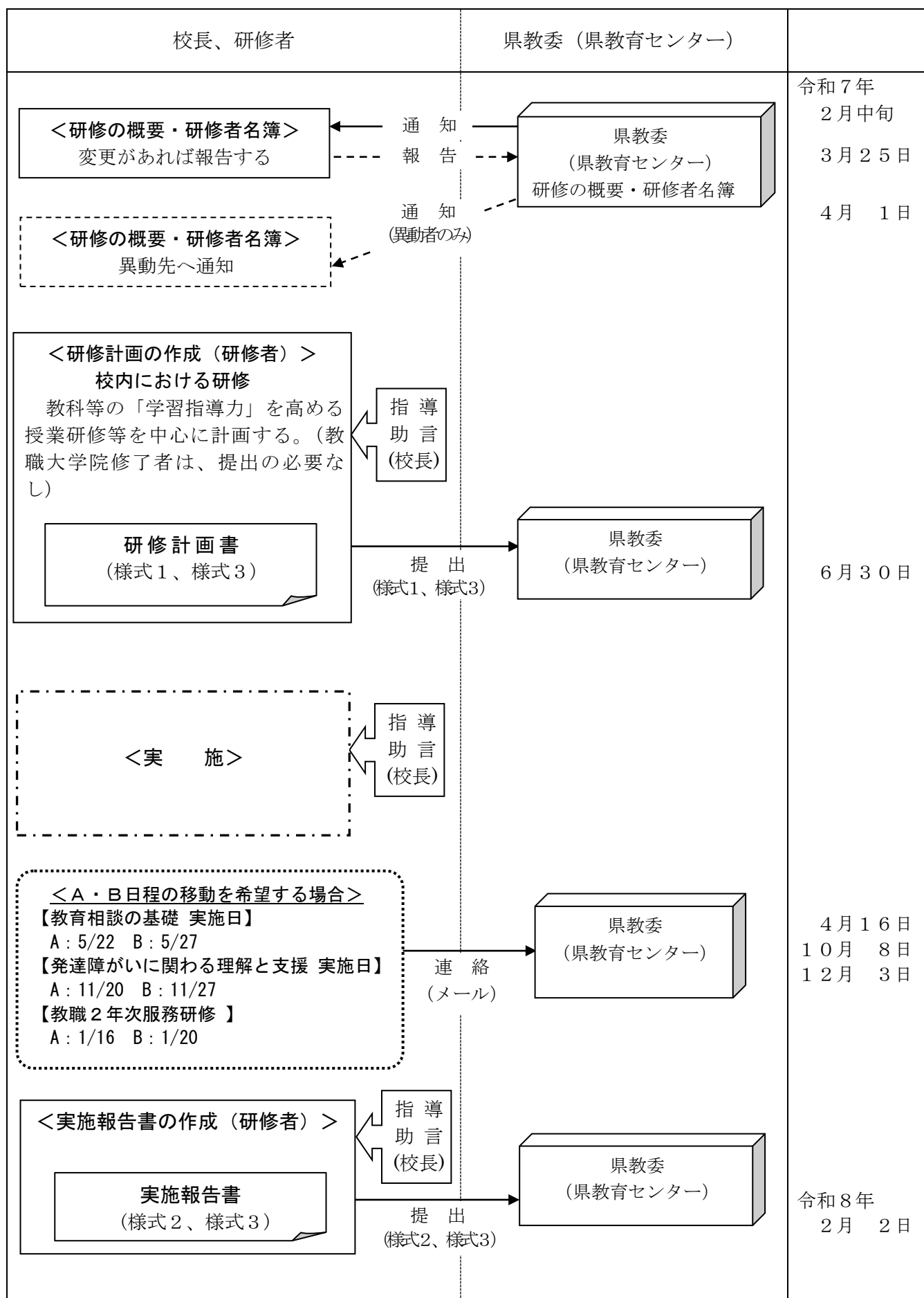
## 9 提出書類

校長は、研修計画書及び実施報告書を県教育センター所長宛に提出する。その際、書類は電子データで担当者に送付すること。ただし、教職大学院修了者は校内における研修（30時間）が免除のため、実施報告書のみを提出する。

提出書類	様式	提出先	提出期限
研修計画書	様式1 様式3	県教育センター所長	令和7年6月30日（月）
実施報告書	様式2 様式3		令和8年2月 2日（月）

※ 各書類の作成及び提出に当たっては、研修の概要と共に送付する様式、または県教育センターWebページにある様式を活用すること。

## 10 教職2年次フォローアップ研修の実施手順（特別支援学校）



## 様式 1 の記入例

### 令和 7 年度山形県特別支援学校 教職 2 年次フォローアップ研修 研修計画書

学校名	県立〇〇〇〇学校	校長名	□□ □□
研修者名	◇◇ ◇◇		

#### 校内における研修

研修期間は、5 月から翌年 1 月末までを原則とし計画する。研修内容は、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等を中心に、『令和 6 年度初任者研修の手引－特別支援学校－』（p 26～33）を参考にしながら、学校・地域の実情や研修者の課題を踏まえて年間 30 時間になるように記入する。

実施期間	研修内容	参集者	時数	備考
5 月～6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元名「すきなうたを見つけてうたおう」（音楽科）の学習指導案（略案）作成及び検討</li> <li>・ 他学部音楽の授業参観</li> <li>・ 授業研究会の実施</li> <li>・ 事後研究会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学部合同音楽担当者</li> <li>・ 中学部音楽担当者</li> </ul>	12 時間	
8 月～9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業における ICT 活用研修会</li> <li>・ ICT を活用した算数の教材研究</li> <li>・ 算数科における ICT を活用した事例検討会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報教育担当者</li> <li>・ 小学部高学年担任</li> </ul>	3 時間	
10 月 ～11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元名「ともだちにてがみをかこう」（国語科）の学習指導案作成</li> <li>・ 学習指導案検討会の実施</li> <li>・ 教材教具等の検討及び準備</li> <li>・ 事前研究会の実施</li> <li>・ 授業研究会の実施</li> <li>・ 事後研究会の実施</li> <li>・ 授業研究会の成果と課題検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学部国語科担当者</li> <li>・ 小学部教員</li> </ul>	15 時間	
計			30 時間	

※ 必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。

※ 教職大学院修了者は校内における研修（30 時間）が免除のため、研修計画書の提出は必要なし。

## 様式 1

### 令和 7 年度山形県特別支援学校 教職 2 年次フォローアップ研修 研修計画書

学校名	校長名
研修者名	

#### 校内における研修

研修期間は、5 月から翌年 1 月末までを原則とし計画する。研修内容は、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等を中心に、『令和 6 年度初任者研修の手引－特別支援学校－』（p 26～33）を参考にしながら、学校・地域の実情や研修者の課題を踏まえて年間 30 時間になるように記入する。

実施期間	研修内容	参集者	時数	備考
			時間	
			時間	
			時間	
計			時間	

※ 必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。

※ 教職大学院修了者は校内における研修（30 時間）が免除のため、研修計画書の提出は必要なし。

## 様式 2

### 令和 7 年度山形県特別支援学校 教職 2 年次フォローアップ研修 実施報告書

学校名	校長名
研修者名	<input type="checkbox"/> ※ 教職大学院修了者は <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。

#### 1 校外における研修について

「教職 2 年次服務研修」「教育相談の基礎」「発達障がいに関わる理解と支援」を受講しての成果と課題（学んだことや、自らの教育実践において生かしたいこと等）について記入すること。

--

※ 教職大学院修了者は校外における研修のみ記入する。

#### 2 校内における研修について

研修計画に基づき、自らの取り組みについて記入すること。なお、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等については、授業中や授業後の児童生徒の様子から、自らの授業づくりの在り方を評価し、成果と課題を記入すること。

教科等名・単元等名	成果と課題	実施時数
		時間
		時間
		時間
計		時間

※ 実施した教科等・単元等ごとに記入し、必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。



様式 3

〇〇〇第〇〇〇号  
令和〇年〇月〇日

県教育センター所長 殿

県立〇〇〇〇学校長

令和 7 年度山形県特別支援学校教職 2 年次フォローアップ研修の関係書類に  
ついて（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和 7 年度山形県特別支援学校教職 2 年次フォローアップ研修 〇〇〇〇〇

# 令和7年度山形県特別支援学校 教職3年次フォローアップ研修の概要

## 1 目 的

山形県教員「指標」の始発期における公立学校教員を対象として、学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。

## 2 主 催 山形県教育委員会

## 3 対象者

令和5年度に実施した、山形県小学校・中学校・義務教育学校初任者研修、山形県特別支援学校初任者研修、山形県高等学校初任者研修のいずれかを受講した者で、山形県公立特別支援学校の教諭及び助教諭（令和7年4月1日現在）とする。ただし、令和5年度以前に、教諭として国立学校又は公立の学校において1年以上勤務した経験者は含まない。

## 4 研修の内容・回数等

校内研修・ 校外研修の区別	主管	回数・時間等		研 修 内 容
校外	県 教 育 セ ン タ ー	3 回	1 回 (全日)	○学習指導力を高める研修 ・授業研究（県教育センターにおける研修） (A・B日程)
			1 回 (午後)	○教育公務員としての自覚を高める研修 ・教職3年次服務研修 (A・B日程)
			1 回	○総合的な人間力を高める研修 ・研修者の選択による研修 (1) 県教育委員会が作成する「フォローアップ研修講座一覧」から、研修者が各自の課題に基づいて選択して受講する。 (2) (1)を原則とするが、その他、校長が認める研修講座も可とする（事前相談の上）。
校内		30 時間		・校長等の指導の下、計画的・継続的な授業研究等

※ 教職大学院修了者は、校内における研修（30時間）を免除する。

※ 研修の実施日は、5月から翌年1月までの期間を原則とする。

※ 県教育委員会が作成する「フォローアップ研修講座一覧」は、県教育センターWebページ上に掲載する。

## 5 県教育センター主管の研修

いずれも A・B 日程で行うため、研修者は自身の日程を別添「研修者名簿」で確認すること。日程の移動を希望する場合は、下記のとおり連絡が必要になる。なお、期限を過ぎた場合には、原則移動を認めない。

### (1) 授業研究

① 期 日 A 日程 令和 7 年 8 月 6 日 (水)

B 日程 令和 7 年 8 月 7 日 (木)

② 会 場 県教育センター

③ 主な講師 県教育センター指導主事等

④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限

県教育センター宛て、下記メールにて連絡（様式は任意）

kyose-kensyu@pref. yamagata. jp

令和 7 年 6 月 2 日 (月) まで

日程 (A 日程・B 日程共通) ※中堅研と一部合同

日 時		研修内容	方法	備考
8 月 6 日 (水) / 8 月 7 日 (木)	9:30～ 9:50	受付		
	10:00～10:05	オリエンテーション		
	10:00～10:15	イントロダクション		
	10:30～12:00	※実践報告と実践検討 ～今後の授業づくり～	協議 対話	
	12:00～13:00	昼食休憩		
	13:00～15:10	※実践報告と実践検討 ～今後の授業づくり～	協議 対話	
	15:10～15:30	授業研究のまとめ	講義 演習	県教育センター 特別支援教育課長等
	15:30～15:50	リフレクション (振り返り)		
	15:50～16:00	諸連絡		

※ 「校内研修」で実践した授業について、学習指導案を使用して授業報告を行う。その後、中堅研教諭とともに担当の学級・教科等の「今後の授業づくり」について、協議・対話を行う。人数に応じて小グループを編成する。

※ 受講者の人数によって、時間の設定を変更する場合がある。詳細については、Google Classroom 又は Plant のお知らせ通知で知らせる。

※ 学習指導案等に係る留意事項

- 単元・題材等は自由とする。
- 児童生徒一人一人の実態と個別目標、個に応じた指導の手だて等が分かる基本的な形式の学習指導案を準備する。
- 個人情報の取扱いに注意すること。
- T Tによる指導の場合、T 1 の立場で作成した学習指導案とする。
- 映像資料は、協議に必要がある場合に限り、10分程度に編集すること。  
(詳細についてはGoogle Classroom又はPlantのお知らせ通知による)。
- 今後の授業づくりについて話し合いの中心となる協議の柱を考えておくこと。
- 学習指導案と協議題については、7月25日(金)まで県教育センターまで提出すること。

(2) 教職3年次服務研修

- ① 期 日 A日程 令和7年12月 3日(水)  
B日程 令和7年12月 9日(火)
- ② 会 場 所属校等 (Zoom を利用したオンライン型研修)
- ③ 主な講師 県教育局教職員課管理主事  
県教育センター指導主事
- ④ 日程の移動を希望する場合の連絡先と期限  
県教育センター宛、下記メールにて連絡 (様式は任意)  
kyose-kensyu@pref. yamagata. jp  
令和7年10月22日(水)まで

- (3) 「総合的な人間力を高める研修」については、校長、教頭の指導・助言の下、研修者の実態を考慮して参加する研修講座を選択する。その際、各学校で申込み手続き等を行うこと。

## 6 校内における研修

- (1) 山形県教員「指標」の始発期における重点項目を参考にしながら、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等を中心に、その他の領域も含めた研修者の実態を考慮した研修内容とする。
- (2) 研修者は、自らの課題解決に向けて、校内の他の教員の助言等を受けながら、計画的に授業研究等を企画し、取り組むものとする。
- (3) 校長は、研修者への助言等を行うためのフォローアップ研修担当者を、学校や研修者の実情に応じて配置することもできる。

## 7 受講に係る旅費について

< 県立学校教員 >

受講に係る旅費は、年度当初、所属に配当替の10款1項5目より支給する。

## 8 研修計画書の作成

研修計画書は、校長の指導・助言の下、原則として研修者が作成する。その際、研修の趣旨を踏まえ研修者の課題解決の契機となりえるものとする。

「総合的な人間力を高める研修」については、研修計画書の提出だけでは研修会等の申込み手続きとはならない。各学校で申込み手続き等を行うこと。

## 9 実施報告書の作成

実施報告書は、校長の指導・助言の下、原則として研修者が作成する。

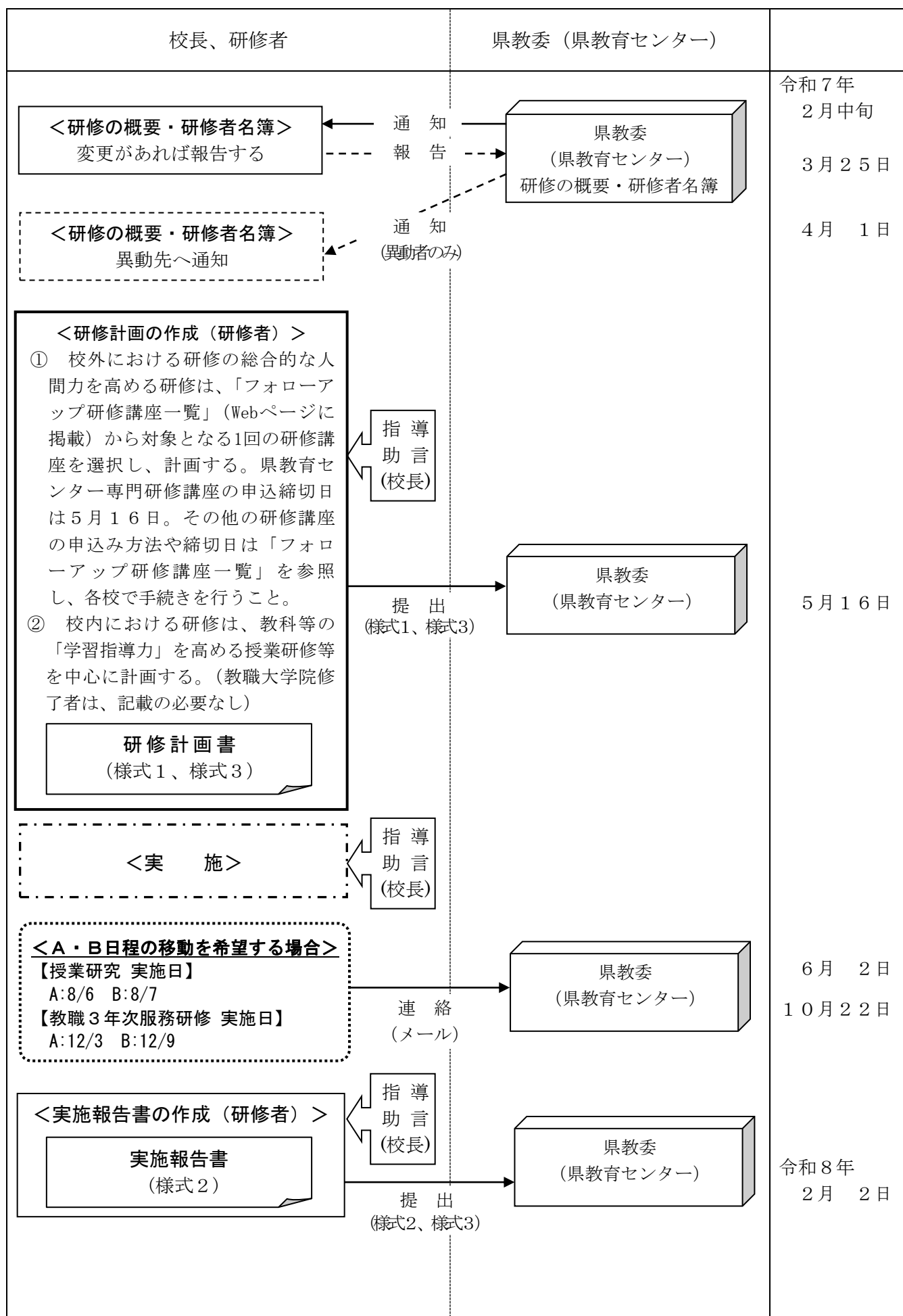
## 10 提出書類

校長は、研修計画書及び実施報告書を県教育センター所長宛に提出する。その際、書類は電子データで担当者に送付すること。ただし、教職大学院修了者は校内における研修（30時間）が免除のため、研修計画書は、「総合的な人間力を高める研修」講座のみを記入し、提出する。実施報告書は、校外における研修についてのみ記入し、提出する。

提出書類	様式	提出先	提出期限
研修計画書	様式1 様式3	県教育センター所長	令和7年5月16日（金）
実施報告書	様式2 様式3		令和8年2月 2日（月）

※ 各書類の作成及び提出に当たっては、研修の概要と共に送付する様式、または県教育センターWebページにある様式を活用すること。

## 11 教職3年次フォローアップ研修の実施手順（特別支援学校）



## 様式 1 の記入例

### 令和 7 年度山形県特別支援学校 教職 3 年次フォローアップ研修 研修計画書

学校名	県立〇〇〇〇学校	校長名	□□ □□
研修者名	◇◇ ◇◇	<input type="checkbox"/>	※ 教職大学院修了者は <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。

#### 1 校外における研修 「総合的な人間力を高める研修」

県教育委員会が作成する「フォローアップ研修講座一覧」より研修を選択すること。計画書の提出だけでは申込み手続きとはならないため、各学校で申込み手続き等を行うこと。

期 日	研修講座等の名称	会 場
令和 7 年 7 月〇〇日 (〇)	授業力アップ講座【生活 (小)】	県教育センター

- ☒ ※ 県教育センターが主催する研修講座については、5 月 1 6 日まで Plant から申込み手続きを行った後、左枠に☒を入れてから提出する。
- ※ 県教育センター以外が主催する研修講座については、各学校で問い合わせ、申込み手続等を行う。
- ※ 教職大学院修了者は校内における研修 (3 0 時間) が免除のため、研修計画書は、校外における研修「総合的な人間力を高める研修」のみ記入し提出する。

#### 2 校内における研修

研修期間は、5 月から翌年 1 月末までを原則とし計画する。研修内容は、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等を中心に、『令和 5 年度初任者研修の手引ー特別支援学校ー』(p 2 6 ~ 3 3) を参考にしながら、学校・地域の実情や研修者の課題を踏まえて年間 3 0 時間になるように記入する。

実施期間	研修内容	参集者	時数	備考
5 月 ~ 6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元名「すきなうたを見つけてうたおう」(音楽科) の学習指導案 (略案) 作成及び検討</li> <li>・ 他学部の音楽の授業参観</li> <li>・ 授業研究会の実施</li> <li>・ 事後研究会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学部合同音楽担当者</li> <li>・ 中学部音楽担当者</li> </ul>	12 時間	
8 月 ~ 9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業における I C T 活用研修会</li> <li>・ I C T を活用した算数の教材研究</li> <li>・ 算数科における I C T を活用した事例検討会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報教育担当者</li> <li>・ 小学部高学年担任</li> </ul>	3 時間	
10 月 ~ 11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元名「ともだちにてがみをかこう」(国語科) の学習指導案作成</li> <li>・ 学習指導案検討会の実施</li> <li>・ 教材教具等の検討及び準備</li> <li>・ 事前研究会の実施</li> <li>・ 授業研究会の実施</li> <li>・ 事後研究会の実施</li> <li>・ 授業研究会の成果と課題検討会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学部国語科担当者</li> <li>・ 小学部教員</li> </ul>	15 時間	
計			30 時間	

※ 実施した教科等・単元等ごとに記入し、必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。

## 様式 1

### 令和 7 年度山形県特別支援学校 教職 3 年次フォローアップ研修 研修計画書

学校名	校長名
研修者名	<input type="checkbox"/> ※ 教職大学院修了者は <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。

#### 1 校外における研修 「総合的な人間力を高める研修」

期 日	研修講座等の名称	会 場
令和 年 月 日 ( )		

- ☐ ※ 県教育センターで開催する研修講座については、5 月 1 6 日まで Plant から申込み手続きを行った後、左枠に☒を入れてから提出する。
- ※ 県教育センター以外が主催する研修講座については、各学校で問い合わせ、申込み手続等を行う。
- ※ 教職大学院修了者は校内における研修（30 時間）が免除のため、研修計画書は、校外における研修「総合的な人間力を高める研修」のみ記入し提出する。

#### 2 校内における研修

研修内容は、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等を中心に、『令和 5 年度初任者研修の手引ー特別支援学校ー』（p 2 6 ～ 3 3）を参考にしながら、学校・地域の実情や研修者の課題を踏まえて年間 30 時間になるように記入すること。

実施期間	研修内容	参集者	時数	備考
月～ 月			時間	
月～ 月			時間	
月～ 月			時間	
計			時間	

※ 実施した教科等・単元等ごとに記入し、必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。



## 様式 2

### 令和 7 年度山形県特別支援学校 教職 3 年次フォローアップ研修 実施報告書

学校名	校長名
研修者名	<input type="checkbox"/> ※ 教職大学院修了者は <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。

#### 1 校外における研修について

##### (1) 「総合的な人間力を高める研修」実施報告

期 日	研修講座等の名称	会 場
令和 年 月 日 ( )		

(2) 「教職 3 年次服務研修」「授業研究」「総合的な人間力を高める研修」を受講しての成果と課題（学んだことや、自らの教育実践において生かしたいこと等）について記入すること。

--

※ 教職大学院修了者は校外における研修のみ記入する。

#### 2 校内における研修について

研修計画に基づき、自らの取り組みについて記入すること。なお、教科等の「学習指導力」を高める授業研修等については、授業中や授業後の児童生徒の様子から、自らの授業づくりの在り方を評価し、成果と課題を記入すること。

教科等名・単元名等	成果と課題	実施時数
		時間
		時間
		時間
計		時間

・ 実施した教科等・単元等ごとに記入し、必要に応じて欄の増減可。ただし 2 枚以内で記入する。

様式 3

〇〇〇第〇〇〇号

令和〇年〇月〇日

県教育センター所長 殿

県立〇〇〇〇学校長

令和 7 年度山形県特別支援学校教職 3 年次フォローアップ研修の関係書類に  
ついて（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和 7 年度山形県特別支援学校教職 3 年次フォローアップ研修 〇〇〇〇〇